

第 16 回日本内分泌病理学会学術総会

16th Annual Meeting of the Japan Endocrine Pathology Society

2012 年 10 月 11 日（木）～10 月 12 日（金）

会 場：良陵会館 記念ホール・大会議室

（〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町 3-34 TEL：022-227-2721）

会 長：笹野公伸

（東北大学大学院医学系研究科病理診断学分野／東北大学病院病理部）

演題提出締切日：2012 年 7 月 20 日（金）

第 16 回日本内分泌病理学会学術総会のご案内と演題募集

日本内分泌病理学会の会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、第 16 回日本内分泌病理学会学術総会を 2012 年 10 月 11 日（木）、12 日（金）の 2 日間にわたり、良陵会館（宮城県仙台市）にて開催させていただくことになりました。今回は”症例から学ぶ内分泌病理学“をテーマに掲げ、会長講演、2 題の特別講演、ランチョン、イブニングセミナー以外は学術総会の充実を図るべく一般演題の発表に重点をおかせていただきます。特に教育的な症例の経験を共有させていただきます事なしに内分泌病理学の進歩はありえませんので、若手の先生方の症例報告の発表に出来るだけ多くの時間を割かせていただくように企画しました。つきましては症例演題を含みます一般演題を公募させていただきますので、抄録提出要領により奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。特に先生方が診断、治療に難渋なされました症例の発表を是非お願い出来ますと幸いです。

なお会場に Discussion 顕微鏡を用意させていただき、症例の鏡頭が出来るようにさせていただきます。希少例、難解症例など教育的な症例を対象に活発に議論できる場にしまして、今後先生方が同様の症例を経験なされます時に少しでもお役にたてるような企画にしたいと考えております。

更に翌日の 10 月 13 日（土）には病理、内分泌代謝科、内分泌外科の専門医をこれから受験されようと考えておられ先生方を主な対象としまして、”内分泌病理スライドセミナー in Sendai 2012 ～専門医志望者への基礎からの内分泌病理所見の解説～”と題しますスライドセミナーを以下のように計画しておりますので、該当なされます先生方及び興味をお持ちの先生方は是非御参加なされるようお願い申し上げます。

なお参加者は専門医の単位（日本内分泌学会専門医 8 単位、日本病理学会専門医 5 単位）を取得することができます。また、学会会則・研究賞細則に基づき優秀な一般演題、症例演題に対して、日本内分泌病理学会最優秀賞（Distinguished Investigator Award of Japan Endocrine Pathology Society）および日本内分泌病理学会奨励賞（JEPS Young Investigator Award）を授与いたします。なおこれらの賞に加えまして今回は症例報告発表の中から日本内分泌病理学会症例発表賞（Distinguished Case Report of Japan Endocrine Pathology Society）を授与致す予定にもしておりますので症例演題への応募もお待ちしております。

内分泌病理研究に関わる多くの皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

1. 抄録提出要領

一般演題と症例演題を公募いたします。症例演題の場合には、顕微鏡標本の提出が可能です。優秀な一般演題と症例演題に対して「日本内分泌病理学会研究賞」を設けております。奮って応募下さい。

症例演題では抄録の最後に検鏡討論のための顕微鏡標本の有無を明示してください。

なお、演題の筆頭演者は日本内分泌病理学会の会員であることが必要ですので、非会員の場合は入会をお願いします。

入会手続きは日本内分泌病理学会の HP (<http://www.nacos.com/jeps/>) をご覧下さい。

2. 日本内分泌病理学会研究賞について

「日本内分泌病理学会研究賞」には日本内分泌病理学会最優秀賞 (Distinguished Investigator Award of Japan Endocrine Pathology Society) および日本内分泌病理学会奨励賞 (JEPS Young Investigator Award) の 2 つがあります。いずれも内分泌病理学に関連する臨床的あるいは基礎的研究が対象となり、年次学術総会において演題発表を行う日本内分泌病理学会の会員であり、当該年度末で 40 歳未満の研究者が対象となります。本学術集会では研究賞の審査は抄録に基づいて行われ、これに経歴と業績を加味することとなっております。研究賞の応募には演題抄録提出時に下記の必要書類の提出をお願いいたします。

<研究賞応募に必要な書類>

- (1) 意思表示 (抄録の下に研究賞応募の意思を記載)
- (2) 簡単な経歴 (生年月日含む) と業績 (主要論文等)

3. 提出書類

当学会は一般社団法人日本内分泌学会の分科会であり、一般演題も症例演題も、日本内分泌学会雑誌分科会抄録集に掲載される抄録と、日本内分泌病理学会学術総会プログラム集に掲載される抄録の **2種類** の抄録原稿が必要です。詳細は下記 5 をご参照下さい。また、抄録原稿の提出はすべて電子メールでお願いいたします。

提出先メールアドレス : endopath2012-office@umin.net (演題提出専用)

(担当 : 佐取 涼子、及川 美香)

抄録提出後 1 週間以内に受領確認のメールがお手元に届かない場合にはご一報下さい。

4. 抄録提出期限

締切日 : 2012 年 7 月 20 日 (金)

提出期限は学会誌に掲載する都合上、厳守をお願いいたします。

5. 抄録原稿作成要綱

1) 日本内分泌学会雑誌分科会抄録集用の抄録原稿

- a) 一般演題、症例演題、シンポジウムの演題とも 800 字以内。写真などを加えることはできません。
- b) Word 文書で作成し、添付文書でお送り下さい。なお、内容はメール本体にも書き込んで下さい。
- c) 1 行目に演題名、2 行目以降に氏名・所属を記載し、1 行あけて抄録本文を記入してください。

[日本内分泌学会雑誌分科会抄録原稿書式 >> ダウンロード \(Word\)](#)

2) 第16回日本内分泌病理学会学術総会プログラム集用の抄録原稿

- a) 抄録原稿は一般演題では900字以内、症例演題、シンポジウムの演題では1800字以内。症例演題およびシンポジウムの演題は、さらに図表、写真も可能です。図表、写真はB5版の1ページに収まる枚数とし、jpgファイルで、全体で2M以内になるようにして下さい。
- b)、c) の記入要領は1)と同様です。

[プログラム集用抄録原稿書式 >> ダウンロード\(Word\)](#)

6. 会費の事前登録

参加費：一般会員	6,000円	(9月1日以降は7,000円)
学生会員	3,000円	(9月1日以降は4,000円)
非会員(一般)	10,000円	(9月1日以降は11,000円)
非会員(学生)	5,000円	(9月1日以降は6,000円)

締切：2012年9月1日(※9/1以降も申込みは可能ですが参加費が変更になります。)
事前登録用紙に必要事項を記載し運営事務局宛にメールにてお送りください。

[事前参加登録用紙 >> ダウンロード\(Excel\)](#)

登録完了後、運営事務局より支払方法等をご連絡させていただきます。
(手数料は各自のご負担でお願い致します)。

7. 学会会期・会場

会期：2012年10月11日(木)、12日(金)

会場：良陵会館 記念ホール・大会議室

(〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町3-34 TEL: 022-227-2721)

8. 内分泌病理スライドセミナー in Sendai 2012 について

会期：2012年10月13日(土)

会場：東北大学医学部1号館1階 顕微鏡実習室

(〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号)

講師：

下垂体疾患：井下 尚子(がん研究会がん研究所病理部/虎の門病院病理部)

甲状腺/副甲状腺疾患：亀山 香織(慶応義塾大学医学部病理診断部)

膵消化管神経内分泌疾患：笠島 敦子(東北大学病院病理部)

副腎疾患：笹野 公伸(東北大学医学部病理診断学/病院病理部)

共催：日本内分泌病理学会・NPO法人東北内分泌研究会

参加登録：定員：先着120名

参加費：内分泌病理学会員 10,000円 (9/1以降：10,000円)

非会員 10,000円 (9/1以降：13,000円)

[事前参加登録用紙 >> ダウンロード\(Excel\)](#)

※ 上記料金は配布標本、シラバス代を含みます。

※ 詳細は下記事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

第16回日本内分泌病理学会学術総会 運営事務局

担当：佐取 涼子/及川 美香

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学医学部病理診断学分野内

TEL: 022-717-7450 FAX: 022-273-5976

E-mail: endopath2012-office@umin.ac.jp